

令和4年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

令和5年2月14日実施

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

◆事業所自己評価

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ケア・フレンズ	代表者	脇屋 智樹	法人・事業所の特徴	経営理念『年をとっても、障害をもっても、自分の望む場所で自分らしく生き続けていきたい。そんな想いを受け止めてくれる「優しい街」づくりに少しでも貢献していきたいと考えています。』 サービス付高齢者住宅の1階に事業所を置き、ご支援しております。
事業所名	よりそいの家・よかったね	管理者	河合 緑		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	人	1人	人	2人	人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画に対する定期的な振り返りを実施する。 日常的なことを含めて、意見の言いやすい事業所の雰囲気づくりに努める。 事前に議題提供したり、少人数でのミーティングを複数回開催したり、ミーティングのやり方に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス感染や人員不足により改善計画の振り返りはほとんど行えなかった。 上記の理由で意見交換する場面は多くできたが、雰囲気づくりへの配慮までの余裕はなかった。 ミーティングのやり方は、複数回開催でき、議題提供も直前ではあったが事前に行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所全体で意識の統一は難しく、職員各々の対応になりがち。それぞれの良き想いを共有し、行動に移していくとよい。 事業所ミーティングは、短時間ででも開催し、書面で全体共有できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を共有し、定期的な振り返りを実施する。 事前に議題提供したり、少人数でのミーティングを複数回開催したり、ミーティングのやり方に配慮する。また、話し合った内容を書面で全体共有する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の過ごしやすい空間づくり、心地よい雰囲気づくりのための接遇に関して、事業所の会議の議題に取り上げ、振り返りの機会を設ける。 「お互いに心地よい挨拶と感謝の気持ちを伝えよう」を事業所接遇のスローガンに掲げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が少しでも過ごしやすくなるようにテーブル配置を利用者に合わせて柔軟に変更できた。 接遇面の振り返りできたが、具体的な心地よい雰囲気づくりは、忙しさに流されることが多かった。 事業所接遇のスローガンの活用が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所接遇のスローガンの掲示は続け、唱和するなど意識づけ、絶えず伝え、共有するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「お互いに心地よい挨拶と感謝の気持ちを伝えよう」を事業所接遇のスローガンに掲げ、唱和するなど意識づけを行っていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所職員が接する方々（併設マンションに来られる方、利用者宅の周囲の方、サービス事業所等）に気持ちいいあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをすることはできていたと思うが、気持ちいいあいさつについて事業所として検討はできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつは対象者を区別するものでもなく、常に目を合わせて笑顔であいさつすることを習慣化しましょう。相手に不快感を与えないことが基本だと思います。まずは職員間のあいさつから。 ・自己チェック表を毎月することで振り返ることもできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所職員が接する方々（併設マンションに来られる方、利用者宅の周囲の方、サービス事業所等）に笑顔で気持ちいいあいさつをする。 ・自身の接遇を振り返る機会を設ける。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が地域へ出ていく機会（ドライブやなじみの場所への訪問等）を設けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間的に難しいことが多かったが、もともと住んでいた地域に出向くことができた利用者もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点としての機能強化に努め、よりオープンな事業所となればいいですね。 ・地域行事に参加できるとよい。 ・小さいことでもコツコツ取り組みができるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が地域へ出ていく機会（ドライブやなじみの場所への訪問、地域行事への参加等）を設けていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書面会議で出た意見等を返答していく。 ・オンライン会議等を活用して、直接意見をうかがえる機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面会議でいただいた意見等には、次の書面会議で返答することはできたが、オンライン会議の開催には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議が一般的になっている。頻度を上げていけるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面会議で出た意見等を返答していく。 ・オンライン会議等を活用して、直接意見をうかがえる機会を増やしていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続のための計画を検討、立案していく。 ・火災以外の訓練ができないか、マンション管理会社と協議していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染により事業継続を検討しながら、運営することとなり、結果的に大まかな流れはできた。 ・訓練は火災想定に限定されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練にも参加できるとよい。 ・訓練の継続が大切。 ・マンション管理会社とBCP共有し、準備していけるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション管理会社とともに事業継続のための計画を共有し、非常時に備えていく。 ・火災以外の訓練（感染対策も含む）ができないか、マンション管理会社と協議していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 30日 (19:00~21:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 3人 計9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	1人	人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・ご本人やご家族の想いを聞き、ご利用者の支援で何を大切にすべきかをまず共有する。・相手を知るために、みんなが新規の方やその家族に積極的にに関わり、生活に対する本人の想いやこだわり等を具体的に記録として残し、記録を確認する事で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ご利用者の想いは、本人に聞くことで反映できたと思う。ご家族の想いは、関わりながら確認していた。・積極的にに関わり、記録に残すことはできたが、記録の確認は職員によって差がみられた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1人	5人	2人	1人	9人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人	5人	2人		9人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3人	6人			9人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8人	1人		9人

できている点
<ul style="list-style-type: none">・本人の意向やご家族の想いをできるだけ考慮している。・サービス利用時の丁寧な声掛けやご家族との関わりを積極的に行えた。・記録を書くことやミーティングを通して情報共有している。・事前に知り得た情報 (基本情報等) を伝えることはでき、把握できている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・事前に避けてほしいこと (利用者間の物のやり取り等) について説明が不足していた。・ミーティング不参加の場合に情報共有までに時間がかかることもある。・新規利用開始に合わせてミーティングは行えておらず、書面での確認となっている。・利用者のサービス利用前のことをなかなか知ることができなかった。・利用者の事前情報が十分に収集できていない。また、利用後の本人の想いやニーズの聞き取り・把握が不十分。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・ご本人やご家族の想いを聞き、ご利用者の必要な支援をまず共有する。・相手を知るために、みんなが新規の方やその家族に積極的にに関わり、生活に対する本人の想いやこだわり等を具体的に記録として残し、記録を確認する事で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 30日 (19:00~21:00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 3人 計9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	2人	人	9人

前回の改善計画
・事業所のミーティングを通して、現状の話だけでなく、支援の方向性等についても取り上げていけるように努めていく。 ・定期的なミーティングと議事録の回覧で情報共有に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・定期的なミーティングの開催と議事録の回覧で情報共有することは大部分でできたが、支援の方向性については十分に取 り上げることはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		2人	5人	2人	9人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2人	5人	2人	9人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		1人	6人	2人	9人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6人	3人		9人

できている点
・自己実現の尊重、要望(～してほしい)には、応えることができています。 ・日常の関わりで知り得た「～したい」は、記録に残し、ミーティング等で情報共有している。 ・他のスタッフから情報収集し、支援につなげている。 ・自立支援に努め、できた時に一緒に喜ぶようにしている。 ・利用者の行きたい場所(地元)へ一緒に行くことができた。

できていない点
・目標が明確にはなっていない。(ケアプランに沿った支援) ・PDCAサイクルになっていないことが多い。 ・現状の話し合いはできているが、支援の方向性はなかなか取り上げられていない。 ・個々の生きがいを把握できていない。

次回までの具体的な改善計画
・事業所のミーティングを通して、現状の話だけでなく、「目標は何か」も取り上げていけるように努めていく。 ・定期的なミーティングで支援内容を振り返り、議事録の回覧で情報共有に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 30日 (19:00~21:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 3人 計9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	1人	人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・本人の生活を理解するために、こだわりや習慣等を探って、共有できるように努める。・共有された本人の気持ちや体調によりそいながら日常生活の中で、本人の「できる」ことを活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・事業所の会議等で本人の生活の把握、共有をすることはできた。・本人の現状に合わせた支援に努めたが、統一した支援内容には至らないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2人	6人	1人	9人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3人	5人	1人		9人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	4人	4人		9人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		9人			9人
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2人	6人	1人		9人

できている点
<ul style="list-style-type: none">・本人の性格や体調に合わせた介護、関わり、食事形態見直し等はできている。できることはしていただけるよう努めている。・ミーティングで「できること」「支援しすぎないこと」を考慮し、本人の状況にあったケアの話し合いをしている。・ケア内容に変更があった場合は、記録に残している。・ご利用者の「いつもと違うこと」は、その日のスタッフに伝え、記録に残すようにしている。その後の対応につなげることができている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・「基本的介護」「即時的支援」の使い分けができていない。・ミーティングで話し合った結果が曖昧なままになることがある。・スタッフ全員が一人一人の「できる」「できない」「生活歴」を把握できていない。・ケアについて思うことがあっても、口に出して発信していくことが少ない。・身体状況以外の本人の「声にならない声」の把握が難しい。・定期的に不穏となる方の対応に困ってしまう時がある。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・基本的な介護や支援の方向性について、ミーティング等で具体的に決められるように努める。・共有された本人の気持ちや体調によりそいながら日常生活の中で、本人の「できる」ことを活用する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 30日 (19:00~21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 3人 計9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	5人	人	9人

前回の改善計画
・ご本人と家族との関係を大切にし、事業所が「架け橋」になれるように状況等を活動写真等交えながら発信していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・感染症対策で直接お伝えすることは少なかったが、広報誌や電話で状況等を部分的に発信することができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6人	2人	1人	9人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れぬように支援していますか?		5人	4人		9人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4人	5人		9人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3人	3人	3人	9人

できている点
・本人の生活を把握できている方が多く、お話する中で本人の生活スタイルや好きなものをアセスメントしている。 ・地域資源として併設マンションの管理会社と協同できている。 ・家族や知人と会える機会を提供し、家族に写真や連絡帳にて活動の様子を伝えている。また、普段の様子や体調の変化など伝えるようにしている。 ・コロナ禍で、感染対策を講じ、面会が難しい場合はガラス越しの面会や電話、広報誌を活用している。看取り期には例外面会対応している。

できていない点
・事業所からの発信が弱い。 ・本人の周囲の支援(バックグラウンド)について、事業所全体で情報共有できていない。 ・活動写真の発信ができていない方もいる。 ・情報収集の積極性が足りないと感じることもある。 ・コロナ禍で家族や地域とのつながりが制限されることが多い。 ・マンション入居者の入居前の生活を知ることが難しい。

次回までの具体的な改善計画
・ご本人と家族との関係を大切にし、事業所が「架け橋」になれるように状況報告や感染症に配慮した面会の支援をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 30日 (19:00~21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 3人 計9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	4人	1人	9人

前回の改善計画
・柔軟な対応を職員ひとりひとりが判断しやすくなる様に、利用者ひとりひとりの手順等一覧(家族との関わり方、買い物リスト、その方の留意事項等)を作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・支援内容の一覧は特に配慮が必要な場合に作成することができた。 ・手順等一覧(家族との関わり方、買い物リスト、その方の留意事項等)を作成する余裕はなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1人	5人	2人	1人	9人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	7人	1人		9人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2人	6人	1人		9人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7人	2人		9人

できている点
・本人や家族のニーズに合わせて、必要性に応じて柔軟な支援に努めている。 ・必要なサービスの提供と見直しができている。 ・細かな変化にも気付け、対応を相談、実行できている。 ・サービス事業所をよく利用でき、買い物や特別メニュー(食事)は、地域の資源を活用した。 ・お菓子作りは出来そうな方に声を掛け、みんなでできるメニューを考え、一緒に楽しく取り組むことができた。

できていない点
・柔軟な支援とはなっているが、支援内容や支援の必要性の認識の共有ができていない点もある。 ・家族が来所された際の手紙等のやり取りで対応できないことがある。 ・体調不良者、認知症の方への統一した対応が十分ではない。 ・利用者の買い物リストを把握できていない。 ・新しい職員は、手順書等が不十分のため、柔軟な対応がしにくい状況だった。 ・「よりそいの家職員」「マンション管理会社職員」どちらが対応すべきか分からないことがあった。

次回までの具体的な改善計画
・柔軟な対応を職員ひとりひとりが判断しやすくなる様に、利用者ひとりひとりの基本的な対応等一覧(家族との関わり方、買い物リスト、その方の留意事項等)を作成し、可視化に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 30日 (19:00~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 3人 計9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	4人	4人	9人

前回の改善計画
・事業所について地域の方に知ってもらうため、日々の活動で作った作品を展示する場（地域の文化祭、公共の展示スペース）でPRができるよう、個人情報に配慮しつつ、事業所広報誌（よかったね通信）を活用する。また、事業所みんなで取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
・事業所について地域の方に知ってもらうためのPRは感染対策を優先し、消極的とならざるを得なかった。事業所広報誌（よかったね通信）は発行したが、地域の方に知ってもらうための活用には至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人	2人	1人	5人	9人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2人		7人	9人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1人	2人	6人	9人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			1人	8人	9人

できている点
・サービス事業者（特に訪問看護）と看取りにおいて連携をとることができた。 ・事業所広報誌（よかったね通信）を発行することはできた。 ・マンション管理会社主催のイベント（キッチンカーなど）に参加することはできた。

できていない点
・他のサービス機関との会議自体が不十分だった。 ・地域の各種機関や団体との関わりが薄い。 ・コロナ禍で参加することに制限があった。

次回までの具体的な改善計画
・サービス機関やマンション管理会社との会議に複数名で参加できるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 30日 (19:00~21:00)

7. 運営

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 3人 計9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	2人	2人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・事業所の運営に関して、事業所の会議で検討や振り返りを行う。・運営推進会議でいただいた意見を事業所の会議等で共有する。。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・事業所の会議で次月の運営について取り上げることはできたが、振り返りをする余裕はなかった。・運営推進会議でいただいた意見の共有はできていなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		6人	2人	1人	9人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	7人	1人		9人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2人	1人	6人	9人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1人	2人	6人	9人

できている点
<ul style="list-style-type: none">・マンション管理会社と協働できている。・皆様からいただいた意見や苦情には可能な限り対応している。・事業所の会議において、意見や情報の共有、相談はできている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・運営に関しての話し合いは事業所内で不十分だった。・マンション管理会社との協働(業務のすみ分け等)に重点を置きすぎている。・地域に必要とされる拠点という視点が不足している。地域との関わりが薄い。・運営推進会議を书面会議で行っており、話し合いができていない。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・運営に関する法人内の会議に管理者以外の職員が同席する機会を作る。・運営推進会議の報告書を変更し、事業所でも共有しやすいものにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 30日 (19:00~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 3人 計9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	2人	1人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・事故、ヒヤリハット（現場での気付き）について、ミーティング等で事例検討（対策はどうだったか等）をする。・仕事として、研修に参加する機会を作る。・内部研修について、伝達講習を事業所の会議等で行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハット（現場での気付き）について、ミーティング等で検討するが、再発防止できないものがあった。・外部研修への参加は限られた職員だけだった。・内部研修について、伝達講習を事業所の会議で行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		6人	1人	2人	9人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1人	4人	4人	9人
③ 地域連絡会に参加していますか		2人	1人	6人	9人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか		8人	1人		9人

できている点
<ul style="list-style-type: none">・法人全体で内部研修を実施し、伝達できている。また、書面でも共有している。・伝達講習をすることでより深く考えることができた。・リスクマネジメント（事故やヒヤリハットの報告）に取り組んでいる。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・外部研修への参加が少ない。参加する職員も限られている。・研修は振り返りや確認がほとんどで、スキルアップにつながっているかは不明。・リスクマネジメント（事故やヒヤリハットの振り返り、再発防止策の検討）が不十分。・リスクマネジメント（報告書確認のスピード感）が不十分。・リスクマネジメント（ヒヤリハット報告の積極性）が不十分。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・事故、ヒヤリハット（現場での気付き）について、ミーティング等で振り返り（対策はどうだったか等）をする。・外部研修の案内を回覧し、仕事として研修に参加する機会を作る。・内部研修について、伝達講習を事業所の会議等で行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 30日 (19:00~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 3人 計9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	3人	人	9人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・プライバシー、個人情報の管理について定期的に振り返りをする事で、再確認する。・身体拘束や虐待について学ぶ機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・プライバシー、個人情報の管理、身体拘束や虐待について内部研修を活用し、確認することができた。・再認識することはできたが、学びを深めることは難しかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	3人	6人			9人
② 虐待は行われていない	6人	2人	1人		9人
③ プライバシーが守られている	1人	6人	2人		9人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1人	7人		1人	9人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている		7人	1人	1人	9人

できている点
<ul style="list-style-type: none">・書類や記録物や接遇、口頭での伝達などで人権やプライバシーに配慮しようとしている。・社内研修や伝達講習を通じて、定期的な振り返りができている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・業務を行う中で、バタバタしていると全体的に不安定。「待ってて」「座っていて」と言ってしまう。・「身体拘束」「虐待」「プライバシー」の認識が共有できていない。・人権やプライバシーへの配慮を持続させること(風化してしまう)・記録物などが利用者の目の付く場所にある。・連携するサービス事業者(医師や看護師)と話す中で配慮できていない部分がある。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・プライバシー、個人情報の管理について定期的に振り返りをする事で、再確認する。・他のサービス事業者等と情報共有する際に、話す場所等に配慮する。